

地域から見るバイジュウの特徴

国際文化コース アジア文化履修モデル 辻岡義昌

(1) 概要

バイジュウとは何か バイジュウ（「白酒」）とは中国の伝統的な蒸留酒である。私は中国の友人の親族の「満月」（生後1か月のお祝い）の宴席においてバイジュウを飲んで以来バイジュウに興味を持ち、調査を始めた。バイジュウは地域や企業によって製造工程や味が大きく違う。またバイジュウ企業は1つの地域において1社または2社程度しか存在しない。本論では企業ごとにバイジュウを調査することで、バイジュウの地域ごとの共通点や相違点を見つけ、バイジュウについて明らかにしたいと考えた。

バイジュウの誕生と発展 日本では中国酒といえば紹興酒や老酒^{ラオチュウ}の印象が強いだらう。しかし、これらの酒は中国ではマイナーであり、中国独自の酒の中ではバイジュウが最もよく飲まれている。その生産量は紹興酒や老酒などの「黄酒」の約10倍もある。このバイジュウの起源については諸説あるが、約1000年前の宋の時代にはその原型が存在していた。近年では共産党政権によりバイジュウの酒蔵が統合され組織化された。そして政府の都合により、バイジュウ業界は数々の変化を余儀なくされた。しかし、近年バイジュウの生産量は増加傾向にあり、2014年には過去最高の1257.13万トン^{ラオチュウ}を記録している。

バイジュウの種類と製造法 通常の蒸留酒は液体のアルコールを蒸留することでより高度のアルコールを得る。しかし、バイジュウの蒸留はアルコールを含む固体^{こしき}を甑^{こしき}のようなもので蒸すことで蒸留を行う。これは固体発酵と呼称されており、バイジュウ固有の製造法である。バイジュウの原料はデンプンを含む穀物であれば種類を問わず、複数種類の穀物を使用する場合もある。

バイジュウは香気成分によって5種類に分類される。濃香型^{のうこうがた}、醬香型^{しょうこうがた}、清香型^{せいこうがた}、米香型^{べいこうがた}、兼香型^{けんこうがた}の5種類である。この5つの香型はバイジュウの権威ある品評会でも公式に定められている指標で、実際に含まれる成分が大きく異なる。

バイジュウの製造工程は、以下の6つの工程に分割することができる。原料を蒸す、糖化発酵、蒸留、濾過、貯蔵、ブレンドの6つである。この中でバイジュウ独特の工程と言えるのが、糖化発酵と蒸留の2つの工程である。通常の酒の場合、糖化発酵はタンクや桶の中で行われる。しかし、バイジュウの糖化発酵^{こう}は窖と呼ばれる地面に掘られた穴の中で行われる。これは土の中に生息する菌がバイジュウ独特の香気成分を作り出すためである。蒸留は先にも述べたように甑^{こしき}のようなもので発酵させた固体を蒸すことで蒸留を行う。そして、この2つの工程は2回から10回繰り返して行われる。これは、固体の蒸留は1回の蒸留ですべてのアルコールを抽出することがしづらいという理由からである。

地域ごとのバイジュウの違いについて 中国政府によるバイジュウ産業の組織化によって、1つの市町村に存在する企業は数社に限定された。これによって数社の企業がその地域を代表する酒を造っているという状態になる。そこで地域≒企業として、有名なバイジュウ

企業 4 社を挙げて歴史・製造法・商品ラインナップの観点から、書籍や企業ホームページを用いて調査した。そのバイジュウ企業 4 社は貴州茅台酒、五糧液、瀘州老窖、汾酒の 4 社である。貴州茅台酒は高温曲という麴の一種を使うことで醬香型独特の焼けるような香りを作り出している。歴史的背景から全く同じ酒を別々の商標で売っていることも興味深い。五糧液は 5 種類の穀物を使用する点も特殊であるが、双輪底発酵によって発酵の際に蒸留せず一部を残しておくこともまた他とは異なる。そして、商品ラインナップが 100 近く存在していて、バイジュウ企業の中でも最も高い売上高を誇っている。瀘州老窖はその名前の通り窖に大きなこだわりを持っている。古ければ古いほどよいとされる窖において、400 年以上前の窖を現在も使用している。商品ラインナップでも他のバイジュウ企業が酒自体の貯蔵年数でランク付けをしているのに対し、瀘州老窖は窖の年数で商品のランク付けをしている。汾酒は窖を使用せず巨大な甕の中で発酵を行い、蒸留回数も 2 回と少ない。この汾酒の容器は多種多様であり、オブジェにしか見えないようなものもある。

中国人の「面子」とバイジュウ バイジュウを地域ごとに見る中で 2 つの発見があった。1 つはバイジュウが有名であるほど高価であるということである。これは、安くとも有名な酒が多い日本のビールや日本酒業界とは異なる。2 つ目はバイジュウの種類が他の国の酒の商品数と比較して格段に多いということである。これらの要因は中国人の「面子」ではないかと私は考える。中国人の「面子」を重要視する性格が、高価なバイジュウの大量生産と大量消費を生み出し、より外観がいい容器を求め、商品数が増えていったという事態を引き起こしたのではないかと私は考える。

バイジュウ消費者は「面子」を重要視し、見栄のために高価なバイジュウを買う人も多いかもしれない。しかし、先に述べたように作り手側は味にこだわりを持ち、長い工程を経てバイジュウを製造している。中国国内だけでなく、日本や世界でもこのこだわりあるバイジュウが広く普及することが望まれる。

(2) 参考文献

1. 野間重光・中野元編著『しょうちゅう業界の未来戦略』ミネルヴァ書房、2003 年
2. 花井四郎著『黄土に生まれた酒』東方書店、1992 年
3. 小泉武夫『銘酒誕生』講談社、1996 年
4. DEREK SANDHAUS 著『BAIJIU THE ESSENTIAL GUIDE OF CHINESE SPIRITS』Penguin Group(Australia)、2014 年
5. 中商情報網『2014 年中国白酒产量统计分析』2015 年 12 月 1 日取得
<http://www.askci.com/news/chanye/2015/02/05/143428xe9k.shtml>
6. 智研数据研究中心『2014 年中国黄酒行业消费市场分析』2015 年 12 月 3 日取得
<http://www.abaogao.com/c/shipin/X05043G1W5.html>
7. 百度文库『中国历年白酒产量』2015 年 12 月 1 日取得
<http://wenku.baidu.com/link?url=NcHdqpwBd5avnkZ5C9IW24bD0nfNEYegLYpbv->

[V_XLMShgptflG7zxIRnWcwtWl5CiHljL3maFk8_sQoK2ypAx26pNfKJchBQcoZVr8xZKm](#)

8. 茅台商场『地理优势/优质的酿造原料』2015年11月28日取得
http://www.emaotai.cn/product_detail-9.htm (リンク先下部)
9. 金投网『五星茅台和飞天茅台的区别是什么』2015年12月16日取得
<http://lux.cngold.org/zhishi/mingjiu/c2426129.html>
10. 泸州老窖集团有限责任公司官网『文化遗产双国宝/物质文化遗产』2016年1月8日取得
http://www.lzlj.com/content/details_87_1449.html
11. 泸州老窖官方商场、2016年1月8日取得
<http://123.56.160.248/index.php/index.html>
12. 阿里巴巴 1688『汾酒』2016年1月8日取得
http://s.1688.com/selloffer/offer_search.htm?keywords=%B7%DA%BE%C6&n=y&spm=a260k.635.1998096057.d1